

Mpola mpola なムベンデ便り

青年海外協力隊 平成 26 年度第 4 次隊

氏名：佐藤結香 職種：医療機器 派遣国：ウガンダ

①ウガンダについて

ウガンダは東アフリカに位置する赤道直下の内陸国である。アフリカに位置する国では珍しい豊かな緑と水に恵まれている。その恵まれた自然とビクトリア湖の美しさから「アフリカの真珠」と呼ばれている。公用語は英語だが、ウガンダは多くの民族から構成されており現地人同士の会話ではそれぞれの民族の言語が使用されている。主食はマトケ(甘くないバナナ)、キャッサバ(サツマイモに似た芋)、ポシヨ(トウモロコシの粉をお湯で練ったもの)である。米も食べることができ野菜や果物も豊富にある。ウガンダ人は大人しいと感じたが、仲良くなるととても親切で気軽に挨拶してくれる。またおしゃべりが大好きで時間が許す限り話し続ける(笑)。

②ムベンデ

首都カンパラから西へ 120 km 離れたところに位置するムベンデ。私の配属先であるムベンデ地域中核病院は周辺地域を管轄する病院だ。赴任初日は「Most Welcome!」と多くの病院スタッフから歓迎された。昨年まで看護師の JOCV が派遣されていたこともあり、日本人を受け入れてくれているという印象がある。日本の援助により建設された病棟や寄与された医療機器があり、それらを有効活用できるようにサポートするのが私の活動の一つである。ウガンダ人の同僚と共に「Mpola mpola(ンポランポラ)」で活動していきたい。

※Mpola mpola は現地語で slowly という意味。



ムベンデの空



エンジニア部の窓から



病院正面